

# TAD Letter

DOKI-DOKI

04



富山県美術館

Toyama Prefectural Museum of Art and Design

## 第12回世界ポスタートリエナーレトヤマ2018 (IPT2018)



「第12回世界ポスタートリエナーレトヤマ2018」開催ポスター  
(デザイン：TSDO Inc. (佐藤卓))

富山県美術館では、「第12回世界ポスタートリエナーレトヤマ2018」(IPT2018)を開催いたします。この展覧会は、今日のポスターデザインの状況と成果を紹介するため、国際的に作品を公募し、選ばれて公開展示するものです。1985年に、当館の前身である富山県立近代美術館で開催した第1回展から3年に一度の開催を続けているIPTは、創設から33年を迎えます。また、今回のIPT2018は、2017年3月に開催した富山県美術館を会場として開催する、記念すべき回となります。

今回の公募の結果、世界47の国と地域から、A、B部門と新設のU30部門をあわせて3,239点の応募を寄せさせていただくことができ、厳正な審査で選ばれた376点が入選作品として会場に展示されます。

「A部門」：2015年5月以降に制作された、実際に印刷発表されたポスター／264点

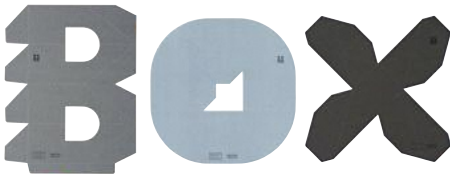
「B部門」：未発表のオリジナル自主制作ポスターとなっています

B-①：テーマ『BEYOND』に拠る未発表ポスター／27点

B-②：テーマ 未発表の自主制作ポスター／61点

新規「U30」部門：30才以下(1988年以降の生年)の応募者を対象とした、デジタルデータでの応募／24点

### 作品紹介



表紙：バルディンガー・ヴェーフ(アンドレ・バルディンガー&トラン・ヴェーフ)(スイス、ドイツ)《bvh グラフィック週間での展覧会ポスター》2018(グランプリ)

上：森川瞬(日本)

《箱屋の箱になる文字型展開図ポスター》2018(金賞)



ザオ・チャオ(中国)《伐採禁止 動物保護》2018(金賞)



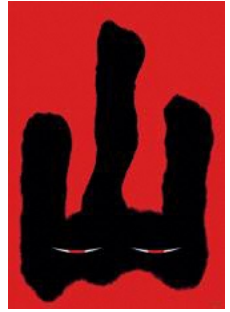
ジャンピン・ヘ (ドイツ)  
《West & East 東と西は分かťことができない。AGI》2017 (銀賞)



中澤定幸 (日本)  
《茶々》2017 (銀賞)



ラルフ・シュライフォーゲル  
(スイス/オランダ)  
《グラフィック週間 ル・アーブル》  
2017 (銀賞)



松本千里 (日本)  
《目を覚ませ》2018 (U30金賞)

## 開催概要

- 会期：8月11日(祝・土)～10月8日(祝・月) 休館日=毎週水曜日(10月3日は臨時開館)、9月18日(火)
- 会場：富山県美術館2階 展示室2、3、4 ●主催：富山県美術館 ●後援：公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 (JAGDA)、東京アートディレクターズクラブ (TOKYO ADC)、東京イラストレーターズ・ソサエティ (TIS)、東京タイプディレクターズクラブ (Tokyo TDC)、「ポスターの街・とやま」実行委員会 ●協力：YKK株式会社
- 観覧料：一般1,100円 (850円) / 大学生550円 (420円) / 高校生以下無料 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金

## 関連イベント

※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

### 1 国内審査員による講演会

IPT2018審査員の三木健氏、渡邊良重氏による講演会を開催します。ご自身のお仕事などについてお話しいただけます。

- 日時：9月24日(祝・月) 講師：三木健氏 (第1次、第2次審査員)、9月30日(日) 講師：渡邊良重氏 (第1次審査員) 各日15:00～(予定)
- 会場：3階ホール (定員：120名) \*事前申し込み不要

### 2 学芸員によるギャラリートーク

本展の見どころや受賞作などについてお話ししながら、学芸員と一緒にIPT2018の会場をまわります。

- 日時：会期中の毎週金曜各日 16:00～(約60分)
- 会場：2階展示室2、3、4 (要当日有効の「IPT2018」観覧券) \*事前申し込み不要

### 3 コレクション展もIPT!

3階デザイン・コレクション展示室では、これまでのIPTの受賞作品からのセレクションを11月13日(火)まで展示しています。IPT2018とあわせて、コレクション展示もお楽しみください。

※当日有効のコレクション展または「IPT2018」観覧券が必要です。

### 4 もっとIPT! 協賛イベント「ポスターの街・とやま」

IPT2018の会期に合わせて、富山商工会議所、富山市などにより、協賛イベント「ポスターの街・とやま」が富山市内各所で展開中!

詳しくは、富山商工会議所ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.ccis-toyama.or.jp/toyama/poster/index.html>

## 第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018 (IPT2018)が始まりました

今回の世界ポスタートリエンナーレトヤマ (IPT) の課題の一つは、デジタル化への対応でした。グラフィックデザインの領域が広がるなか、国内外のデザイン・コンペティションは画像データでの応募で行われるものが増えています。紙媒体であるポスターの公募展IPTも、検討を要する時期でした。また、多様なデジタルのメディアが普及した時代に生まれ育った世代とIPTを結ぶことも、大きな課題でした。第一線のグラフィックデザイナーである歴代の実行委員の方々はじめ、多方面からご意見をいただき、検討を重ね、今回、若手を対象としたデジタルデータ応募によるU30部門を新設しました。

今回のIPTの公募にも、国内外から多数のお問い合わせがありました。ポーランドからの「紙媒体での応募受付を続けるポスター展が減ってきた。だから、トヤマには必ず応募したい」という電話が印象に残る一方、他の国からは、政治・経済の情勢の変化のなかでポスターの制作や応募がままならないという連絡も受けました。皆さまのIPTへの想いに感謝するなか、47の国と地域

から全部門あわせて3,239点の応募をいただきました。展覧会開幕直前に行われた国際審査員によって、最高賞となるグランプリをはじめとする各賞が決定し、8月10日の授賞式・開会式で発表しました。会場では、入選・入賞作品に実行委員・審査員作品を加えた、411点のポスターを通して、世界の多彩なポスターの現況にふれていただくとともに、ポスターという表現の魅力をお伝えしています。

各審査に携わったデザイナー、評論家の皆様のコメントにつきましては、展覧会カタログや当館ウェブサイトをご覧ください。

現代のさまざまな問題を映し出している世界各国のポスターを、富山県美術館でご覧いただけましたら幸いです。

- 実行委員会：勝井三雄氏、松永真氏、浅葉克己氏、藤崎圭一郎氏、色部義昭氏、雪山行二館長
- 第一次審査会：2018年5月31日(木)、6月1日(金)に開催。松永真氏、浅葉克己氏、藤崎圭一郎氏、色部義昭氏、三木健氏、渡邊良重氏、雪山行二館長の7名で実施。(写真)
- 第二次審査会：2018年8月7日(火)、8日(水)に開催。メルヒョール・インボーデン氏(スイス)、ピオトル・ムオドジェニエツ氏(ポーランド)、一次審査員から松永氏、浅葉氏、三木氏を加えた5名で実施。



## 三沢厚彦 ANIMALS IN TOYAMA

三沢厚彦さんは原寸大の動物彫刻「アニマルズ」を制作しています。TADではクマの彫刻が人気ですね。

この秋開催される企画展での新作制作のため、この夏三沢さんが立山を訪れました。立山開山伝説にちなみ、室堂付近を散策。クマが阿弥陀如来に変身したという伝説がある「玉殿の岩戸」では、荘厳な山々に囲まれたこの石窟を、静かに味わっておられました。その後、立山博物館では、「現沸化現」展とまんだら遊苑を視察。三沢さんは、聖地立山からたくさんパワーをもらったようです。

### 開催概要

- 会期：10月20日（土）～12月25日（火）
- 会場：富山県美術館2階 展示室2、3、4



「玉殿の岩戸」近くを散策する三沢さん

### 三沢さんからのメッセージ

「立山、カモシカ、ライチョウなど、富山ならではの新しい作品への構想が浮かんできました。アーティストの舟越桂さん、小林正人さん、杉戸洋さん、浅田政志さんにも、この構想で一緒に面白いことをできないか、と話しています。ANIMALS IN TOYAMA、楽しみにしています。宜しくお願いします！」

## INFORMATION

### 4

### 近隣美術館の展覧会スケジュール

- 【ギャラリー・ミレー】『高橋敬市 写真展「靈気満つ景」』 ●会期：2018年10月14日（日）まで  
『近代社会と人間』 ●会期：2019年1月14日（祝・月）まで
- 【高志の国文学館】『「言霊の人・大伴家持」刊行記念企画展 里中満智子「菱」のテーゼ』 ●2018年10月8日（祝・月）まで  
『生誕100年記念特別展「堀田善衛―世界の水平線を見つめて」』 ●2018年10月17日（水）～12月17日（月）まで
- 【富山県水墨美術館】『花鳥風月 ころもに響く美の世界 光ミュージアムの名品より』 ●会期：2018年9月14日（金）～11月4日（日）まで  
『驚異の超絶技巧！ 一明治工芸から現代アートへ』 ●会期：2018年11月16日（金）～12月24日（休・月）まで
- 【富山市ガラス美術館】『コレクション展2018-1』 ●会期：2018年11月6日（火）まで  
『富山ガラス大賞展2018』 ●会期：2018年9月15日（土）～11月25日（日）まで
- 【森記念秋水美術館】『刀をめぐるダンディズム 森記念秋水美術館所蔵品 刀と拵展』 ●2018年11月18日（日）まで
- 【金沢21世紀美術館】『アベルト08 七搦線乃』 ●会期：2018年9月24日（休・月）まで  
『起点としての80年代』 ●会期：10月21日（日）まで  
『東アジア文化都市2018金沢 コア事業連携企画 チウ・ジーエ 書くことに生きる』 ●会期：2019年3月3日（日）まで  
『lab.3 DeathLAB：死を民主化せよ』 ●会期：2019年3月24日（日）まで  
『アベルト09 西村有』 ●会期：2018年10月6日（土）～2019年3月24日（日）まで  
『コレクション展 アジアの風景 / 粟津潔、マクリヒロゲル5』 ●会期：2018年11月3日（祝・土）～2019年5月6日（祝・月）まで  
『東アジア文化都市2018金沢 変容する家』\* ●会期：2018年9月15日（土）～11月4日（日）まで  
※会場：金沢市内（石引、野町地区ほか）

## ○オープンラボ（土日祝）

## 「かぶってミルゾー！ ヘッドバンドをつくろう」

- 会期：8月4日（土）～10月8日（月・祝）の土日祝日に実施
  - 会場：富山県美術館 3階 ラボ（アトリエ内） ●参加費：無料
  - 受付時間：10:00～10:15、11:00～11:15、14:00～14:15、15:00～15:15
  - 活動時間：10:15～10:45、11:15～11:45、14:15～14:45、15:15～15:45
- ※ミルゾーは富山県美術館のマスコットキャラクターです。

## ○オープンラボ（平日）

## 「くるくるメダルをつくろう」

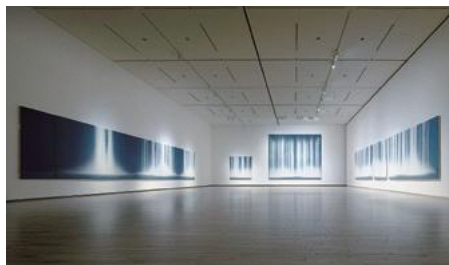
- 会期：7月12日（木）～10月23日（火）の平日に実施
  - 会場：富山県美術館 3階ラボ（アトリエ内）
  - 参加費：無料 ●活動時間：10:00～16:00
- ※学校団体の施設利用や、その他のイベントがある場合はお休みします。  
随時当館WEBサイトやSNSをご確認ください。



## 「高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展」開催報告

本展では、3万8千人を超える方がご観覧され、千住博氏の画業に驚きと発見の声をいただきました。奉納前の巨大なパネル状態の2作品は、繊細かつ大迫力。開館1年を迎えようとする広々としたホワイト・キューブの空間に美しく映えていました。また、妖しく光る作品《龍神》の前では、まるで「涼」を楽しむかのように和やかに作品をご覧になる方々がたくさん。

近代美術館時代から約6年の準備期間をかけ開催した「千住博展」。若き日の千住氏が触発されたというポロックやウォーホルらの当館コレクションを館内で同時展示し、現在活躍中の収蔵作家である千住博氏のスケールの大きさ、その魅力の一端をご紹介します。



\*「高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展」：6月9日（土）～7月29日（日）に開催されました。

会場写真 写真提供：ナカサアンドパートナーズ  
上：奉納襖絵《瀧図》2018年 高野山金剛峯寺所蔵  
下：《龍神I・II》2015年 軽井沢千住博美術館所蔵

### プロムナードイベント第3弾 「ザ・ヨシランド 幻の鳥バッサー飛来!!」

環水公園内の美術館へ続くプロムナードで開催しているプロムナードイベントの第3弾として、紙芝居のパフォーマンスで大人気のよしとさん企画によるスタンブラリーを7月14日(土)～16日(月)に開催しました。よしとさんが作成した鳥をモチーフとするカラフルな雨傘でできた「バッサー」120体と新種のバッサー4体を公園内各所に設置。参加者は公園内を探検し、新種を探してスタンプを集めました。最終日の16日(月)には、よしとさんが来館し、スタンプを集めた参加者に「新種認定カード」をプレゼントしました。



### 富山県美術館のマスコットキャラクター 「ミルゾー」が立体に!?

近代美術館時代から皆さんに愛されている、当館のマスコットキャラクターの「ミルゾー」の作者、永井一正氏により立体化され、環水公園内のプロムナードに8月25日(土)誕生しました!美術館に向かって走り出す姿を表した3体のミルゾーを、前後左右から見るができます。皆さんはもうご覧になられましたか?プロムナードから美術館へ向かう際に、立体となったミルゾーも一緒に楽しんでくださいね。



### アーティスト@TAD 若木くるみ 版ラン!

今年の「アーティスト@TAD」は、アーティスト及びランナーとして活動する若木くるみさんを迎えて開催中です。11月4日(日)まで開催しているギャラリー展示では、8月12日(日)から18日(土)にかけて美術館で滞在制作した作品や、ワークショップで参加者とともに制作した作品を展示しています。展示はギャラリーを飛び出して、館内各所で展開していますので、お見逃しなく!11月4日(日)には、開館時間中ノンストップで大車輪の中を走り続けるパフォーマンスを開催します。若木さんを応援してください!



## コレクション紹介

クリスト&ジャンヌ＝クロード / Christo and Jeanne-Claude / C : 1935～、JC : 1935～2009  
《囲まれた島々：フロリダ州マイアミ、ビスケーン湾の計画》1980～83年 / 紙・カラープリント



©Christo Photo: Wolfgang Volz

富山県美術館のコレクションで最も大きな作品はどれでしょうか？数mのサイズの絵画や立体の作品もありますが、「最も大規模」という意味では、クリスト&ジャンヌ＝クロードによる作品群が当てはまるのではないのでしょうか。

クリストとジャンヌ＝クロードの夫妻は、建物を布で包む「梱包」をはじめ、街や自然の景観に介入するプロジェクト形式の作品に取り組んできました。《囲まれた島々》は、アメリカのフロリダ州最南端に位置するマイアミのビスケーン湾で行われた、11の島々のまわりの海面をピンク色の布で囲むというプロジェクトです。当館収蔵作品は、その記録写真4点からなります。

島をピンク色の布で囲むアイデアは、マイアミの熱帯樹林と青空、海の色との調和を意図したものです。幅61mにおよぶ巨大な布は、空気を含む軽いポリプロピレンを素材に、島の輪郭にあわせて縫製されました。プロジェクトの準備にあたり、1981年より弁護士、生物学者、海洋エンジニア、建設会社等によるチー

ームが生まれ、1983年5月にはスタッフは430人を超えました。また、住民が日々生活を送る、豊かな自然に恵まれた地域であることから、フロリダ州知事・議会をはじめとする各省・関連機関の許可の取得や、ビスケーン湾に棲むマナティなどの動物や鳥、植物への影響調査が行われました。これらの経費はドローイングや写真等を売却することで賄われています。準備に約2年半を費やしたプロジェクトは、1983年5月7日に設置が完了し、2週間目に撤収されました。

2人のプロジェクトは、地域住民をはじめ、芸術とは無縁であったかもしれない多くの人々を巻き込みながら行われます。このプロセスを作品の一部とみなす姿勢は、美術界に新たな価値観をもたらすものでもありました。今年2018年、クリストは湖上にドラム缶を高さ20mの墳墓状に積み上げた《ロンドン・マスタバ》を実現しています。83歳の現在も、新たなプロジェクトに取り組み続けているのです。（学芸員 碓井 麻央）

## 富山県美術館 (TAD)

〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 (富岩運河環水公園内)  
TEL: 076-431-2711 FAX: 076-431-2712 <http://tad-toyama.jp/>  
発行日: 2018年9月10日